

くすなたん

霜月号

Vol.53

2008年11月

毎月10日発行

発行人 藤本高司

発行所 フジモト株式会社

飲食店向け情報満載かわら版
毎月発行



飲食店舗さま向けにかわら版を毎月発行します

向寒の候

カレンダーも残すところあと、2枚となりました。各地から冬の訪れを聞く季節です。政治的な話を持ち出す書面ではないですが、ちょっともの申したい。定額給付金総額2兆円一人当たり1万2千円を全世帯に給付して景気対策をしようとしています。もっと国民が将来の夢になるような資金としての使い道は無いのでしょうか。医療改革や通信技術や筆者としては、新しい食材の開発や食品の薬物検査が直ぐに出来るお水とか。。2兆円では予算が不足でしょうが前向きな資金投資とおもいます。環境展示会が12月11日より東京ビッグサイトで開催されます。残念ながら2007年の温暖化ガス排出量が昨年度2.3%と増加してしまいました。原発の停止影響が大きいようです。飲食店舗でもMY箸やリサイクルおしぼりなど出来るところからはじめましょう。地球環境は、みんなの少し少しの積み重ねがとても大切に思います。



オープンオフィスの普及の秘密

廣告社ぶれいん 竹田 清人

今回は、OpenOffice.org (オープンオフィス) というソフトウェアをご紹介します。このソフトウェアはマイクロソフトオフィスとほぼ同じ機能を持っています。それにも関わらず、お金を出して、購入する必要がないソフトウェア (オープンソース) です。オープンオフィスは6年ほど前に登場したのですが、最近、日本国内でも、にわかに普及し始めています。このオープンオフィスは、ドイツで開発が始まった物を、サンマイクロシステムズという大手のソフトウェア会社が売り出した物だそうで、その後、オープンソースとして広く自由に使える形になって普及しました。



(オープンソースとは、誰もが自由に利用できるようにするために、ソフトウェアの楽譜にあたるソースコードと呼ばれるものが公開されているソフトウェアです。)

オープンオフィスのマーク

OpenOffice.org は Microsoft Office と対応した、次のようなソフトウェアで構成されています。

・表計算ソフト/Calc (カルク) ・ワープロ/Writer (ライター) ・プレゼンテーション/Impress (インプレス) ・描画ソフト/Draw (ドロー) ・データベース/Base (ベース)

また、マイクロソフトオフィスの形式のファイルの読み書きもできます。ただ、全く同じ動きをするわけではないので、使うには、少しの工夫と、馴れが必要です。

この所、普及が急に進み始めたのには、オープンオフィスの完成度が高くなってきたことありますが、他の大きな理由に、内部統制や法令遵守の問題があります。最近では企業経営上の責任が非常に重くなってきており、違法コピー等を防ぐのも重要な課題になってきているのです。流石にPCの台数分のソフトウェアを購入していない企業は少ないでしょう。それでも、社員や派遣社員が社外でも同じソフトウェアを使いたいために、会社のソフトウェアを自宅のPCにインストールしたり、利用条件の不理解で、結果的に違法コピーをしてしまったりする可能性があります。この為、ソフトウェアの利用状況を管理するシステムを導入している企業があるくらいで、これがコストを押し上げる要因になっています。ソフトウェア利用の法令遵守の面などでは、ビジネス・ソフトウェア・ライセンス (http://www.bsa.or.jp/index.html) 等の活動も盛んです。単にコストの問題だけでなく、もし、大規模な違法コピーが発見された場合などの経営リスクを考えると、オープンソースの利用を検討する企業が多くなってきている理由ももうなずけます。

オープンソースを利用する利点として、もう一つ重要な考え方があります。日本最良の外国人として有名な、アシスト社 (ソフトウェアサービス企業) のビル・トッテン氏は、「オープンオフィスのように、ソースコードが公開されているソフトウェアは内容を確認できるので良いが、そうでないソフトウェアは透明性がないので、盗聴などの心配がある。」と発言されています。事実、この危険を回避するために、全社、オープンオフィスに切り替えている大手企業も出てきています。

オープンオフィスの採用事例として、Webのホームページで確認できるどころが幾つかありますので紹介しておきましょう。有名などころでは、ビル・トッテンさんのアシスト社自身や、住友電工 (http://it.nikkei.co.jp/pc/news/index.aspx?n=MMITda000012062008)、公的機関では会津若松市の例が挙げられます。(http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/ja/kisha/files/20080528_openoffice_1.pdf)



オープンオフィスはLinuxで動くだけでなく、Windowsでも動くので、一度、ダウンロードして検討されると良いでしょう。一番新しいバージョンはこの10月に日本語版も出た、3.0です。(http://ja.openoffice.org/download/3.0.0/) 無償のソフトウェアを利用するのでは、サポートの面が不安という企業向けに、アシスト社 (http://www.ashisuto.co.jp/solution/oss/) がオープンオフィスのサポートも始めています。

また、OpenOffice イニシアティブ (http://www.ossaj.org/oo2b/index.html) という団体が、オープンオフィスのファンによって運営されています。

OpenOfficeイニシアティブのマーク

エコプロダクツ2008

フジモトブースでお待ちしております

みなさんは、普段環境に対してどのような取り組みをされていますか？世界は今、未来に健康な地球を残すため様々な活動を行っています。7月の洞爺湖サミットで主要8か国(G8)が温室効果ガス削減の長期目標で合意したことは、記憶に新しいところですね。1999年に始まったこの展示会も、10回目を迎えました。企業に留まらず政府・自治体、NPO・NGO、教育機関など様々なステークホルダーが本展を通じて「つながり」、問題解決の新しい取り組みと事例を紹介することで、社会ムーブメントを生み出す機会として活用されています。10周年の記念テーマは、「もうできる！CO₂- (マイナス)50%のエコライフ」です。

フジモトでは、外食中食業様向けにお客様と共に取り組める温暖化対策、カーボンオフセットメニュー販売のプランニングをお手伝いしております。

SMBC環境ビジネスフォーラム内にブース出展しておりますのでお気軽にお立ち寄りください。東3ホール SMBC環境ビジネスフォーラム SM-05ブース

会場：東京ビッグサイト [東展示場1~6ホール]

会期：2008年12月11日[木]~13日[土] 10:00~18:00
(13日[土]は10:00~17:00)

入場料：無料

お問い合わせ：エコプロダクツ運営事務局

フリーダイヤル：0120-261-122 9時~18時 土・日・祝日を除く
メールアドレス：eco-pro@event-navi.com



食器なんでも豆知識

食器研究家 ケイ・大勝

二十一豆 お家で美味しい健康法 ~鉄瓶の巻~

今年も冬がやってまいりました。寒くなってくると、熱い飲み物をいただく機会が増えますね。そこで、皆様におすすめしたいのが鉄瓶です。

鉄瓶で沸かしたお湯は、鉄分を豊富に含んでおり、貧血などの症状改善に必要な鉄分を摂取することができます。鉄分は1日あたり男性10mg、女性12mgが必要となりますが、現代の食事でこの量を摂取するのは難しいといわれております。

鉄瓶で2リットルのお湯を沸かすことで4mgの二価鉄が溶出されますので、鉄瓶を使用することで、一日に必要な鉄分の約三分の一をまかなう事ができます。また、食物から摂取する鉄分が体に吸収されにくい三価鉄である一方、鉄瓶から溶出するのは体に吸収されやすい二価鉄であるため、鉄瓶は鉄分の補給源として現在広く注目されています。緑茶・コーヒー・紅茶など自分の好きな飲み物から、普段の生活のままでも習慣的鉄分補給が出来るのが鉄瓶のよい点です。現在では、IH対応の鉄瓶もありますので、ご購入の際用途に合わせてお選びください。

鉄瓶でいただくお茶で、貧血知らずの冬をいかががでしょうか？



Fujimoto

発行所 フジモト株式会社
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-7-7SKTビル2F

http://www.fujimoto.co.jp

TEL03-5378-6830 FAX03-5378-6823